

年	月	分類	No.	事業名	実施団体名	開催日時・場所	事業概要	
H25	4月	美術	1	第7回しまね写真展	島根県写真家 連盟	4/25 (木) ~ 県立美術館 (松江市)	自由な発想で撮影した写真を公募し、公開で審査し、しまね写真大賞等を決定するとともに、全作品を展示します。	
	5月					5/9 (木) ~ 浜田こども美術館 (浜田市)		
	6月	映像	2	第22回しまね映画祭	しまね映画祭 実行委員会	6~11月 県民会館・松江テルサ・メテオプラザ (松江市) 安来市民会館 (安来市) 斐川文化会館 (出雲市) 大田市民会館 (大田市) チェリヴァホール (雲南市) グラントワ (益田市) 江津市総合市民センター (江津市) 悠邑ふるさと会館 (川本町) 横田コミュニセンター (奥出雲町) 島根県立大学浜田キャンパス (浜田市)		県内各地の公共文化施設を会場に秋の3カ月にわたって「日本一開催期間の長い映画祭」として秀作・話題作を幅広く上映します。また、「環境」をテーマにした選定作品の全会場上映や、上映作品の監督や出演俳優を招いたトークイベント、映画制作体験ワークショップ「しまね映画塾」を開催します。
		伝統芸能	3	稲佐の浜夕刻篝火舞	大土地神楽保 存会神楽方	6/1 (土) 17:30~21:30 稲佐の浜 (出雲市)		神話「国譲り」の舞台であり、神迎えの浜でもある出雲市大社町の「稲佐の浜」に舞座を設置し、その周囲で篝火を焚いて、幻想的な雰囲気の中で神楽舞を披露します。演目は「国譲り」に関するものなど、神話に因んだものとしします。石見神楽や広島神楽を招き、出雲神楽との違いを楽しめます。
			4	スサノオの里スーパー神楽2013	佐田町文化協 会	6/9 (日) 9:00~16:00 スサノオホール (出雲市)		活力ある神楽舞を目指して結成した若者中心の神楽団体「佐田神舞会」が、代表的演目である大蛇退治の「八戸」に取り組み、「スーパー神楽」として上演します。さらに、石見地方、芸州地方で活躍する神楽団体を招致し、共演します。併せて、「神楽の絵コンテスト」を実施します。
7月	総合	5	2013文化を育むinますだ	益田市文化協 会	7月~11月 グラントワ (益田市)	新しい芸術文化の芽を市民が共に育む交流の場とすることを目的に、益田市文化協会に加盟する絵画・工芸・写真・書道・文芸・華道・茶道・音楽・芸能の各部門55団体が一堂に会する総合文化フェスタとして、作品展示や舞台発表などを行います。		

		6	第8回島根県高等学校文化フェスティバル	島根県高等学校文化連盟	7/13 (土) 石中央文化ホール (浜田市)	島根県内の高等学校文化部 (合唱・吹奏楽・弦楽・日本音楽・郷土芸能・演劇・吟詠剣詩舞など22部門) が一堂に集い、舞台発表と展示発表を行うことにより、高校文化活動を一般県民にアピールします。
9月	伝統芸能	7	第6回斐伊川夕刻かがり火舞	斐伊川夕刻かがり火舞実行委員会	9/1 (日) 17:00~21:00 さくらおろち湖 (雲南市)	八岐大蛇の神話と縁のある斐伊川上流の「さくらおろち湖」を会場として、雲南、大田、大社、浜田の各地域から子供神楽を含む6つの団体が集い、神話をテーマにした神楽の競演大会を開催します。また、仁多乃炎太鼓や「わくわくお話し隊」の朗読劇と神楽のコラボレーションで「やまたのおろち」を上演。併せて、オロチにちなんでステージ横にたたら火を置き、小だたら操業の様子を紹介します。
		8	石見神楽東京・大阪公演	石見神楽東京・大阪公演実行委員会	9/7 (土) 13:00~/18:00~ 森ノ宮ピロティホール (大阪市)	記紀神話に由来する「石見神楽」を東京・大阪の人々を対象に上演することにより、神話と歴史に彩られた島根の文化を全国に発信します。また、現代音楽と石見神楽のコラボレーションによるパフォーマンス集団「YenCallingWithオタケビ神楽団」をゲストに迎え、神楽の魅力をアピールしていきます。
		9	むらくも座2013出雲歌舞伎復活公演	島根県地歌舞伎連合会	9/14 (土) 12:30~14:00 ゆかり館 (出雲市)	出雲地方に伝承されながらも昭和35年を最後に上演が途絶えてしまった出雲歌舞伎の再興を目指し、地元団体が連携して行う復活公演。歌舞伎の始祖出雲阿国の誕生地にふさわしい歌舞伎として上演します。
		10	NPO法人スサノオの風創立10周年記念スサノオの里神楽舞2013~神話伝説と神の威徳~	NPO法人スサノオの風	9/22 (日) 9:00~16:50 スサノオホール (出雲市)	古事記編纂1300年に因み、古事記をはじめとする神話伝説を基にした演目と、近年中国山地の西部、芸北で若い世代に注目を浴びている「創作的な舞」を加えた交流神楽大会を開催します。
10月	総合	11	第17回 (平成25年度) 松江市民文化祭	松江市文化協会	10/11 (金) ~10/14 (月) 松江市総合文化センター他	松江市文化協会の年に一度の文化の祭典。加盟団体の作品展示や公演などを行います。食べるコーナーや遊びのコーナーを中心とした「わくわく広場」もあり、年齢・男女を問わず幅広い方々に芸術・文化に触れていただけます。
	総合	12	第9回奥出雲町芸術文化	奥出雲町文化	【作品展示】 11/2 (土) ~11/3 (日) 横田コミュニティセンター 11/3 (日) ~11/4 (月) 奥出雲町体育館	奥出雲町文化協会による年に一度の芸術文化祭。仁多・横田地域の2会場で開催され、協会加盟団体のほか、非加盟団体等に

11月		祭	協会	【芸能音楽祭】 11/3 (日) 横田コミュニティセンター 【ワークショップ】 11/3 (日)	のり、フクロフネ、江戸川小次郎の雲龍日本酒（ハノ）（元表）を行います。また、来場者の参加・体験コーナーなどもあります。
	舞台芸術	13	演劇「八岐大蛇～ハジマリノオモヒ～」	演劇ユニット ふることぶみ 11/10 (日) 開演14:00/19:00 (2回公演) グラントワ・小ホール (益田市)	平成24年に団体を結成。石見神楽の演目として馴染み深い「八岐大蛇」を題材にしたオリジナル作品を上演します。大蛇の登場シーンでは、津和野町の木ノ口神楽社中の協力を得て、石見神楽により演出します。演劇という角度から石見神楽を見ることで神楽の魅力をアピールしています。
	伝統芸能	14	むらくも座2013出雲歌舞伎復活公演	島根県地歌舞伎連合会 11/24 (日) 10:00～15:30 スサノオホール (出雲市)	出雲地方に伝承されながらも昭和35年を最後に上演が途絶えてしまった出雲歌舞伎の再興を目指し、地元団体が連携して行う復活公演。歌舞伎の始祖出雲阿国の誕生地にふさわしい歌舞伎として上演します。(再掲)
12月	舞踊	15	プリマヴェーラ9	島根県洋舞連盟 12/8 (日) 14:00～16:00 県民会館・大ホール (松江市)	クラシックバレエ・ジャズダンスと、太鼓・笛など日本古来の楽器とのコラボレーションに取り組みます。出演者は県西部から県東部までの洋舞を学ぶ小・中・高・一般の方まで80～85名を募集してオリジナル作品を上演します。
	総合	16	第4回雲南市総合芸術文化祭 『心のメロディ～大正琴の響にのせて～』	雲南市文化協会 12/13 (金)～12/15 (日) チェリヴァホール (雲南市)	舞台、展示の両部門からなる総合芸術文化祭を開催します。舞台部門では、「大正琴」を取り上げ、大正琴と懐かしいメロディーの融合といったテーマで、童謡歌手・坂入姉妹をゲストに迎え、地元大正琴グループとの共演を行います。展示部門では、雲南市文化協会所属の書道団体による展覧会を開催します。
	音楽	17	第22回県民手づくり第九コンサートin島根	島根第九をうたう会 12/15 (日) 14:00～ 県民会館・大ホール (松江市)	オーケストラ、コーラスともに広く県民から団員を公募し、7ヶ月の練習期間を経て毎年12月に行われる「第九」コンサートです。
1月	舞台芸術	18	第22回音楽劇定期公演 「島根・古の古代竜関連音楽劇上演事業」	ビリオネア大学 1/13 (日) 14:30～ 雲南市加茂文化ホール「ラメール」・大ホール	小さな子どもから大人までが参加できる音楽劇サークルとして活動している「ビリオネア大学」が、島根で活躍する演劇や音楽の専門家の協力を得て、新たに八岐大蛇伝説を軸に、地元で出土した鏡や銅鐸も関連させたオリジナル音楽劇を制作・上演します。

H26	2月	音楽	19	サウンドライブしまね アマチュアミュージック フェスティバル	サウンドライ ブしまね実行 委員会	2～3月 雲南市加茂文化ホール「ラメール」（雲南市） 大田市民会館（大田市） 悠邑ふるさと会館（川本町） グラントワ（益田市） 石央文化ホール（浜田市）	島根に暮らしながら活動するアマチュアミュージシャンに発表 機会を提供することで、アマチュアバンド文化の発展を目指す 音楽の祭典。開催地の特色を活かしたコンサートやワーク ショップを実施し、演奏技術の向上や、世代やジャンルを超え た出演者と来場者の交流、地域の賑わいづくりを目指します。
		伝統芸 能	20	石見神楽東京・大阪公演 (外部サイト)	石見神楽東 京・大阪公演 実行委員会	2/22（土） 東京芸術劇場プレイハウス（東京都）	記紀神話に由来する「石見神楽」を東京・大阪の人々を対象に 上演することにより、神話と歴史に彩られた島根の文化を全国 に発信します。また、現代音楽と石見神楽のコラボレーション によるパフォーマンス集団「YenCallingWithオタケビ神楽団」 をゲストに迎え、神楽の魅力をアピールしています。（再掲）
	3月	伝統芸 能	21	神話と歴史の音楽劇創 作・上演事業	歴史の薫る音 楽劇制作実行 委員会	3/2（土） 雲南市加茂文化ホール「ラメール」・大ホール	古事記編纂1300年を迎えるにあたり、「オオクニヌシ」等ゆかり の深い神話を取り入れた新しいオリジナルミュージカルを創 作、上演します。出演者は、一般公募による地域の子どもたち が中心となっています。
			22	神々の国しまね ～古事記1300年～ 第15回白銀の舞神楽大会	石見銀山神楽 連盟	3/2（土）8:30～17:30 大田市民会館・大ホール	大田地域で活動する神楽団体の伝統的な舞や奏楽を広く知って もらうために開催。「塵輪」「日本武尊」「八岐大蛇」「恵比 須」など神話に因んだ演目を上演します。照明と音響の効果的 な活用と演劇的な要素を取り入れ、舞台演出に斬新さを加える 一方、広島と浜田の団体も出演するなど、第15回記念大会を盛 り上げます。同時に、江戸時代に制作された神楽面や衣装を展 示します。
		演劇	23	演劇×古事記 ～島根県雲南市・奈良県 大和郡山市演劇交流～ 演劇「古事記（ふること ぶみ）」上演プロジェク ト	雲南市演劇に よるまちづく りプロジェク ト実行委員会	3/15（土）～3/16（日） チェリヴァホール（雲南市）	古事記編纂1300年をきっかけとして始めた『演劇×古事記～演 劇交流プロジェクト～』の3年目。神話の舞台となった雲南市 と、古事記の語り部・稗田阿礼の故郷、奈良県大和郡山市の市 民が一緒にひとつの演劇作品を共同制作、上演します。